

科目名	聴覚障害学Ⅱ			授業の種類	演習	講師名		
授業回数	15回	時間数	30時間 (1単位)	配当学年・時期	言語聴覚士科2年	前期	必修・選択	必修
〔授業の目的・ねらい〕								
聴覚障害のリハビリテーションの概要を理解した上で、臨床に必要な理論的基礎を習得する。								
〔授業全体の内容の概要〕								
聴覚障害の特徴、評価法・指導法を学ぶ。								
〔講師の実務経験〕								
明石仁十病院、姫路聖マリア病院、入江病院にて言語聴覚士として18年間勤務								
〔授業終了時の達成課題（到達目標）〕								
聴覚障害の特徴を理解し、リハビリテーションに必要な評価法、指導法の基礎を習得する。								
回数	講義内容							
1	聴覚障害の理解							
2	聴覚の発達と評価（1）							
3	聴覚の発達と評価（2）							
4	リハビリテーション概論（1）							
5	リハビリテーション概論（2）							
6	聴覚活用法（1）							
7	聴覚活用法（2）							
8	聴覚活用法（3）							
9	聴覚活用法（4）							
10	視覚聴覚二重障害の実態について①							
11	「ある盲ろう者の生活から」（ビデオ視聴）							
12	手話・指文字の演習（ビデオ視聴）①							
13	" ②							
14	" ③（音声、身振り、文字、AAC等）							
15	まとめ							
【 準備学習・時間外学習 】								
【 使用テキスト 】								
書籍名			著者名			出版社		
【 単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など） 】								
筆記試験にて評価する。								